

05 「98TV」

PC-9821CXに導入されていたアプリケーションで最も使用していたのは98TVである。98TVはその名の通り、Windows上でテレビを見ることができるアプリケーションである。

もともと自分の部屋にはテレビが置いてあったのだが、このパソコンでテレビが見られるようになったため、自分の部屋のテレビは別の部屋へ移動されてしまった。なので、普通にテレビを見るときや、スーパーファミコンなどゲームをするとき、ビデオを見るときはいつもパソコンを起動していた。パソコン本体と98テレビのアプリケーションを起動するのは少し面倒だったし、起動に時間がかかるのは結構嫌だった。

98TVはWindows上で動くアプリケーションということもあり、テレビのウィンドウサイズを自由に変更できた。思いっきり小さくして友達に見せると「小さっ」と笑っていた。

98TVには画像をキャプチャリングしたり、動画を録画する機能があったので、これによく遊んでいた。動画の録画はビデオデッキででき、処理が重かったので、大して使っていなかったが、画像のキャプチャリング機能はよく使っていた。テレビをキャプチャリングしてファイルとして保存したり、印刷したりすることは当時は珍しいことだったので、面白がってよく使っていた。テレビ番組の面白い場面や好きな番組のタイトルなんかをキャプチャリングしては、画像ファイルで保存したり、印刷して学校に友人に見せたりしていた。

当時はアナログ放送で画質があまりよくなかったうえに、自分の部屋のテレビは室内アンテナだったので、キャプチャリングしたときの画像はかなり汚かった。なので、茶の間のビデオデッキ（これは屋外アンテナに接続）でビデオテープに録画した番組を自分お部屋のパソコンに繋いだビデオデッキで再生して、パソコン上の98TVで見ている。この方法であれば室内アンテナよりは画質はマシなのだが、テープに録画した番組は多少劣化し、キャプチャリングして静止画にしてみるとノイズみたいな模様が目立つ。

あとはファミコンやスーパーファミコンのゲームプレイ画面をキャプチャリングもよくやっていた。ゲーム画面はほとんど劣化がなく、印刷もきれいだった。ゲームの画面が印刷できるのも当時は大きな感動だった。

当時は面白がってキャプチャリングした画像は、現在は1枚も残っていない。当時に使っていたパソコン（PC-9821CX）がもう無いのも理由だし、外部で保管するにもその頃はフロッピーしかなかったもので、入りきらなかったのだ。

今はデジタル放送で画質がきれいなうえ、大容量のメディアがたくさん存在する。昔には感動する機能が今では簡単で品質の高く実現できる。この10年でたくさんの技術が進歩したんだなと痛感する。